

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、困難な場合は、本人本位に検討を行う。	入居後も定期的に思いや希望を伺いながら実現に向けて支援方法なども検討し、実施に繋げる。重度化するなかで思いを伝える事が困難な場合も今までの生活歴や趣向も踏まえながら本人本位でのケアや支援に努める。	センター方式C-1-2シート(私の姿と気持ちシート)も再度活用しながら思いや気持ちを集積しておく。今後、重度化された場合もそれを活用し、本人本位のケアに繋げる。ご家族からお話を伺う。	6ヶ月
2	35	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を気づいている。	火災の昼夜想定避難訓練は、定期的実施しているが、地震や水害などの災害に対する災害対応マニュアルも詳細な物を作成、訓練も実施していく。	火災時の避難方法や対応については、周知できている。地震や水害についての対応方法や連絡体系などもマニュアルを作成し、職員がすぐに確認できる所に掲示しておく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。